

3 渇水に対して脆弱なわが国

① わが国の渇水の発生状況



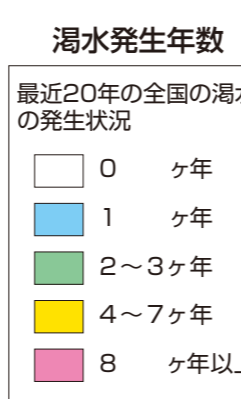
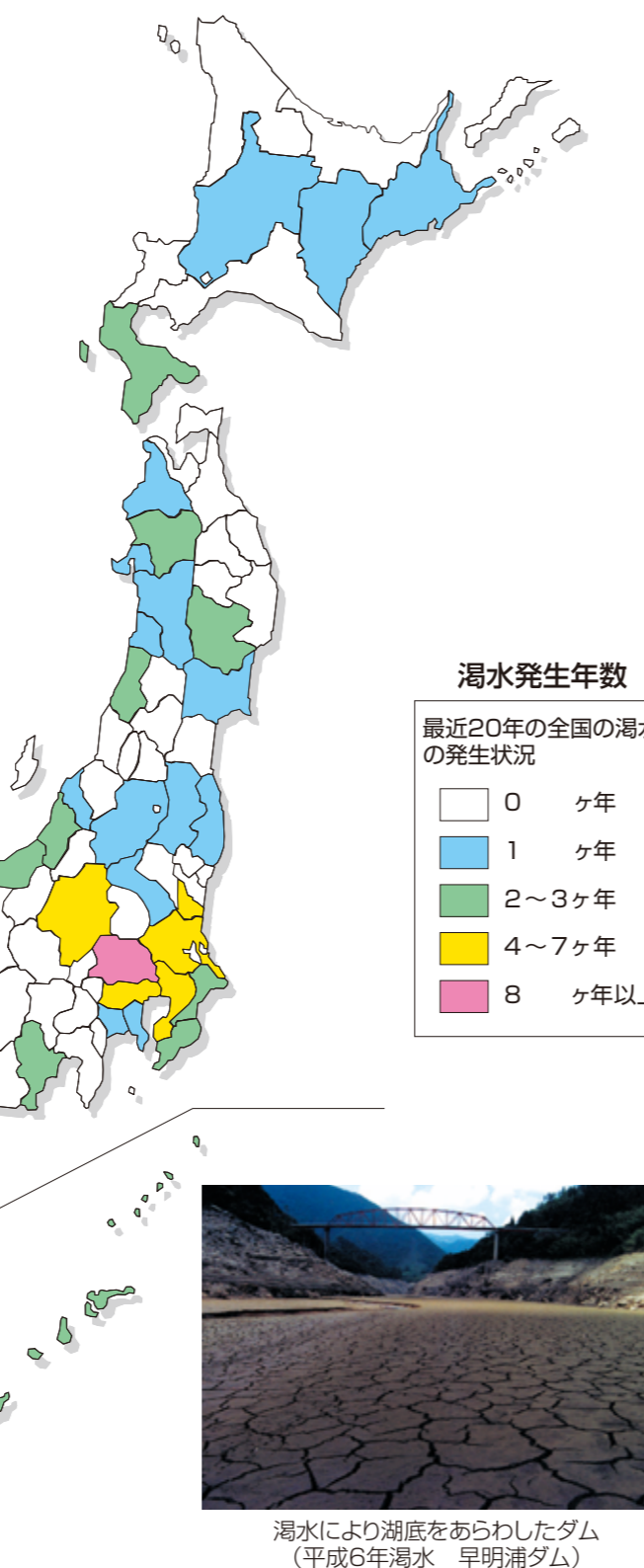
渇水により湖底をあらわしたダム
(平成17年渇水 早明浦ダム)



渇水により湖底をあらわしたダム
(平成2年渇水 矢木沢ダム)



渇水により湖底をあらわしたダム
(平成6年渇水 早明浦ダム)

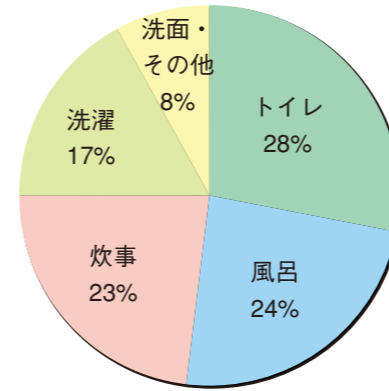


※昭和62年から平成18年の間で上水道について減断水のあった年数を図示したものである。
※資料:平成19年版「日本の水資源」(国土交通省土地・水資源局水資源部)

② 渇水による日常生活への影響

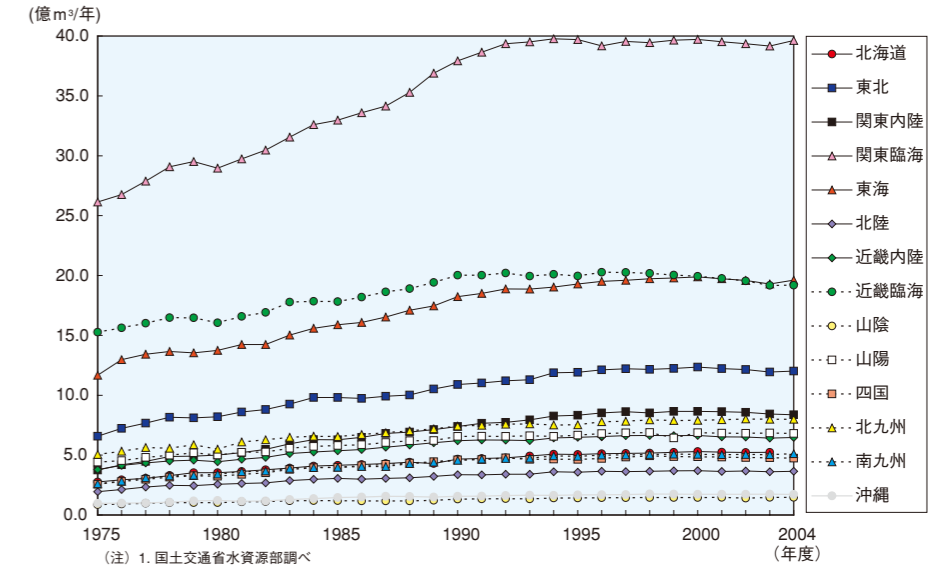
一人一日平均使用水量は、近年横ばいもしくは漸減傾向にあり、全国平均は314ℓ/人・日となっており最高が沖縄の345ℓ/人・日、最低が北海道の264ℓ/人・日となっている。

■目的別家庭用水使用量の割合



(注) 東京都水道局調べ (2002年度)

■生活用水使用量の推移 (地域別・有効水量ベース)



(注) 1. 国土交通省水資源部調べ

③ 過去の代表的な渇水

■既往の主な渇水

年	地域		給水制限		備考
	都市名	主要河川	期間	日数	
1964	東京都	多摩川	7/10~10/1	84日間	東京五輪渇水
1967	北九州市	遠賀川	6/19~10/26	130日間	
	筑紫野市 長崎市	筑後川	9/5~9/26 9/25~12/5	22日間 72日間	長崎渇水
1973	松江市	斐伊川	6/20~11/1	135日間	
	大竹市 那覇市他	小瀬川	7/27~9/13 7/13~9/8 11/21~翌9/24	49日間 58日間 239日間	高松砂漠
1977	淀川沿川都市	淀川	8/26~翌1/6	134日間	
	那覇市他		4/27~翌4/7	176日間	
1978	淀川沿川都市	淀川	9/1~翌2/8	161日間	
	北九州市 福岡市	遠賀川 筑後川	6/8~12/11 5/20~翌3/24	173日間 287日間	福岡渇水
1981	那覇市他		7/10~翌6/6	326日間	
	蒲郡市他(豊川用水地域)	豊川	10/12~翌3/13	154日間	
1984	東海市他(愛知用水地域)	木曾川	8/13~翌3/13	213日間	
	淀川沿川都市	淀川	10/8~翌3/12	156日間	
1986	蒲郡市他(豊川用水地域)	豊川	8/28~翌1/26	152日間	
	東海市他(愛知用水地域)	木曾川	9/3~翌1/26	146日間	
1987	淀川沿川都市	淀川	10/17~翌2/10	117日間	
	東京都他	利根川・荒川	6/16~8/25	71日間	首都圏渇水
1989	蒲郡市他(豊川用水地域)	豊川	8/24~翌5/23	274日間	
	東海市他(愛知用水地域)	木曾川	9/12~翌3/17	188日間	
1989	那覇市他		2/27~4/26	59日間	

(注) 1. 国土交通省水資源部調べ
2. 2006年度までの主な渇水について記述

年	地域		給水制限		備考
	都市名	主要河川	期間	日数	
1990	東京都他	利根川・荒川	7/23~8/9	18日間	
	奈良県 高松市他	木津川 吉野川	9/1~9/16 8/2~8/24	16日間 23日間	
1991	那覇市他		6/10~7/27	64日間	(除く9/12,17,18)
	石垣島		7/19~翌3/3	219日間	
1993	高松市	吉野川	7/11~9/30	67日間	
	松山市	重信川	7/26~11/25	123日間	列島渇水
1994	福岡市	筑後川	8/4~翌5/31	295日間	
	佐世保市		8/1~翌3/5	213日間	
1995	高知市	鏡川	12/13~翌3/18	97日間	
1996	東京都他	利根川・荒川	8/16~9/26	42日間	
	神奈川県	相模川・酒匂川	2/26~4/24 7/5~7/22	77日間	
1997	高知市	鏡川	1/20~3/17	57日間	
1998	高松市他	吉野川	9/7~9/24	18日間	
	高知市	鏡川	12/22~翌3/15	84日間	
2000	姫路市	市川水系	7/24~10/2	71日間	
	今治市他	蒼社川	8/3~9/22	51日間	
2005	豊橋市	豊川	6/15~8/25	72日間	
	大和郡山市	紀ノ川	6/27~8/26	61日間	
2005	高松市他	吉野川	6/22~9/7	78日間	
	阿南市他	那賀川	4/26~7/12 8/3~9/4	77日間 33日間	